

社説

東京都墨田区教委の学校支援ネットワーク本部は、平成21年度から「墨田区学校支援ネットワーク事業」を始めている。年度ごとに充実・発展し、各学校が「生きる力」を育むために実施した地域・企業による出前授業などが功を奏して、「社会に開かれた教育課程」の実現に役立っている。

その詳細が、同区教委が2月13日に開いた「第8回墨田区学校支援ネットワーク・フォーラム」で明らかにされた。出席者は学校関係者だけでなく、事業所・団体のボランティア、保護者など多彩で、従来の教育研究会などとは趣を異にしていた。

「学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子育てを行う体制を整備する」のが、支援ネットワーク事業の目的。「学校の教育活動に地域の教育力を導入することで、学校教育を支援」していく。